スマート・プロテクター90オープン

追加型投信／内外／資産複合

■三菱UFJ銀行からのご留意事項

◎当ファンドは預金ではなく、三菱UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。 ◎ご購入に際しては、保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。 ◎ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。 ◎当ファンドをお取引いただくか否かが、三菱UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。 ◎当ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

〔金融商品仲介口座を通じたご購入について〕

●当ファンドは三菱UFJ銀行の投資信託口座のほかに金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じたお取扱いをしております。 ●金融商品仲介口座を通じたご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただくと、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱ＵＦＪ銀行の本・支店までご請求ください。

投資信託口座を通じたお取扱いの場合

お申込み・販売会社は

MUFG
三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
　　　　　一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・
金融商品あっせん相談センターを利用します。
全国銀行協会相談室：**0570-017109／03-5252-3772**
証券・金融商品あっせん相談センター：**0120-64-5005**
受付時間：月～金曜日／9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合

お問合せ・ご照会は

MUFG
三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
　　　　　一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者・販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
　　　　　一般社団法人金融先物取引業協会
　　　　　一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

MUFG
三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
　　　　　一般社団法人日本投資顧問業協会

ともに、その先へ。

預金金利よりは
リターンが
ほしいな。

値動きが
安定した資産で
運用したいわ。

損したくない!
値下がりが不安!

そんなお悩みへの
私たちのご提案!

市況動向および資金動向等により、上記

皆さまの「声」にお応えします!

「スマート・プロテクター90オープン」

「まもる水準*」で
まもる

分散投資で
ふやす

基準価額の最大下落率を10%程度に抑える仕組みを導入しています。

世界の株式・債券等へ実質的に投資し、安定的な資産成長をめざします。

くわしくは当ファンドの仕組み等(P11-12)をご覧ください。

ファンドの目的	短期金融資産(預金含む)および日本を含む世界各国の株式・債券等を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。

*「まもる水準」とは基準価額がこれを下回らないよう目標とする水準です。
基準価額が当該水準を下回らないことを委託会社が保証するものではありません。

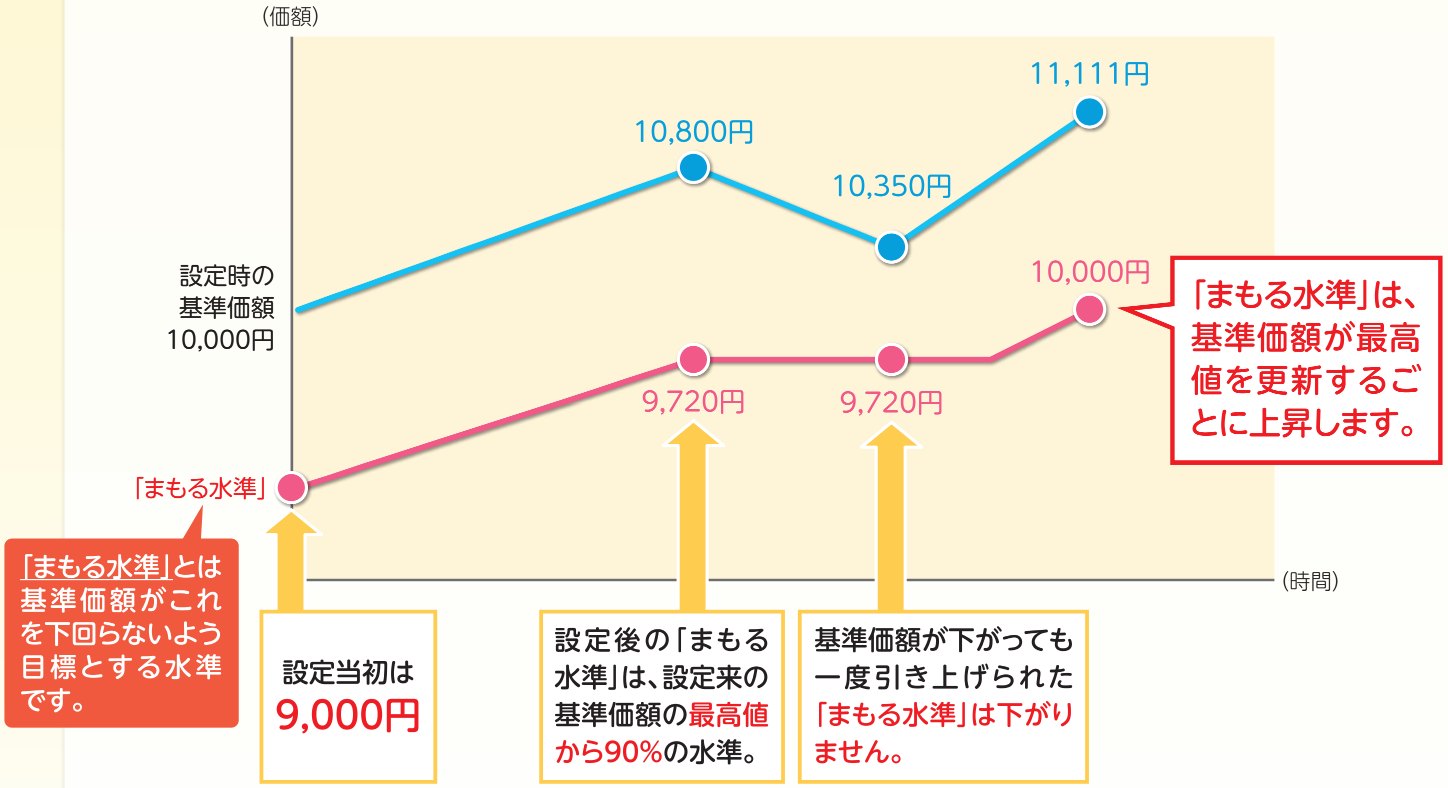
「まもりながらふやす」投資で、

「まもる水準」が大切なご資産

基準価額*の最大下落率を10%程度に抑える仕組みを導入しています。

*支払済みの分配金累計額は加算しません。

基準価額が上がっていく時の「まもる水準」の動き



・「まもる水準」の計算方法は、円未満四捨五入とします。
・基準価額が「まもる水準」を下回らないことを委託会社が保証するものではありません。
・基準価額は1万口当たりです。
・ご購入に際しては、「まもる水準」をご確認ください。「まもる水準」は、委託会社のホームページに「フロア水準」という名称で掲載されます。

・上記は、当ファンドの基準価額と「まもる水準」のイメージを簡易的に表すための図であり、実際の結果

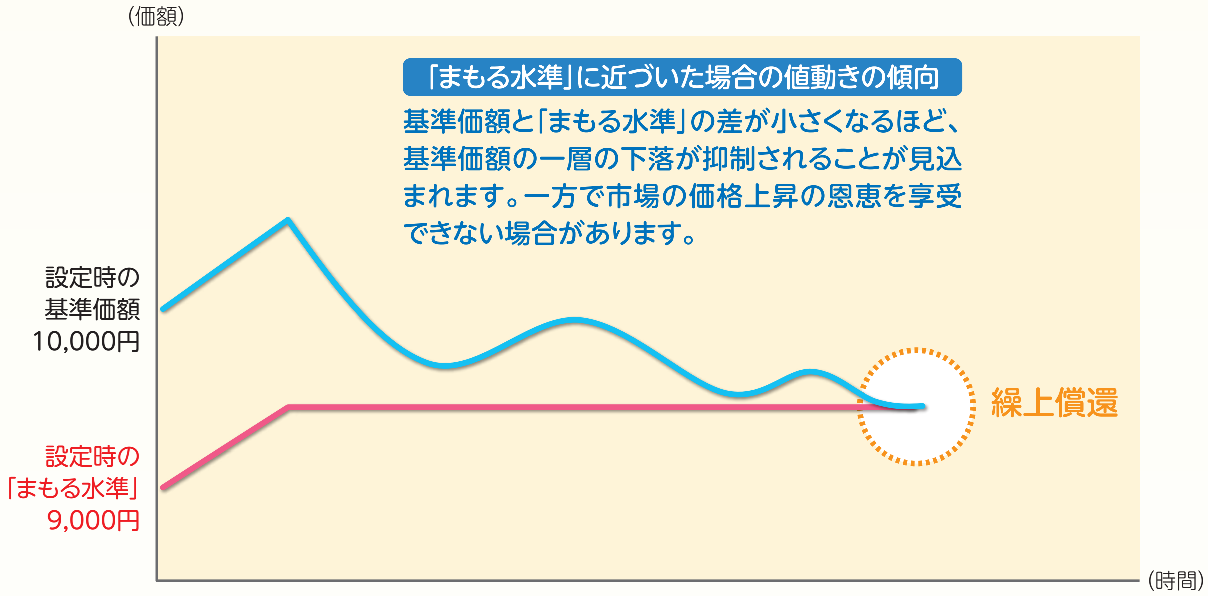
市況動向および資金動向等により、上記

お客さまの資産運用をお手伝いします。

をしっかり まもる!

損失が拡大するのを防ぐため、運用期間中に基準価額が「まもる水準」以下となった場合には、安定運用に切り替えた後、速やかに繰上償還します。
※満期償還日までの期間が短い場合には繰上償還を行わないことがあります。

基準価額が下がっていく時の「まもる水準」の動き



・各種費用やマイナス金利の影響等により償還価額は「まもる水準」を下回ることがあります。
・詳細はP14「その他の留意点」を必ずご覧ください。

とは異なります。また、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
のような運用が行えない場合があります。

「まもりながらふやす」投資で、

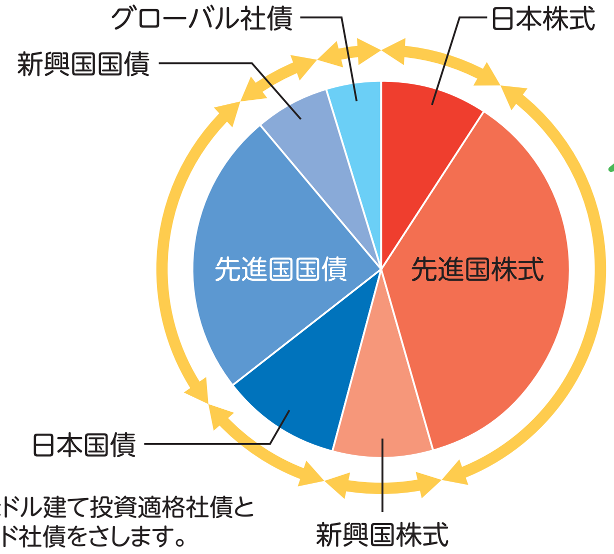
分散投資でコツコツふやす!

ふやす部分*は、実質的に日本を含む世界各国の株式・債券等へ分散投資することで、安定的な収益獲得をめざします。

*ふやす部分=基準価額と「まもる水準」の差に相当する部分

ふやす部分の運用における**資産配分比率**および

実質的な資産配分比率の調整イメージ



各資産の値動きの大きさや投資環境の見通しなどに応じて、その局面で魅力があると考えた資産に投資を行い、資産配分を変更します。なお、資産配分は原則月次で変更します。

グローバル社債は、米ドル建て投資適格社債と米ドル建てハイイールド社債をさします。

上記は、当ファンドのふやす部分のイメージを簡易的に表すための図であり、実際の結果とは

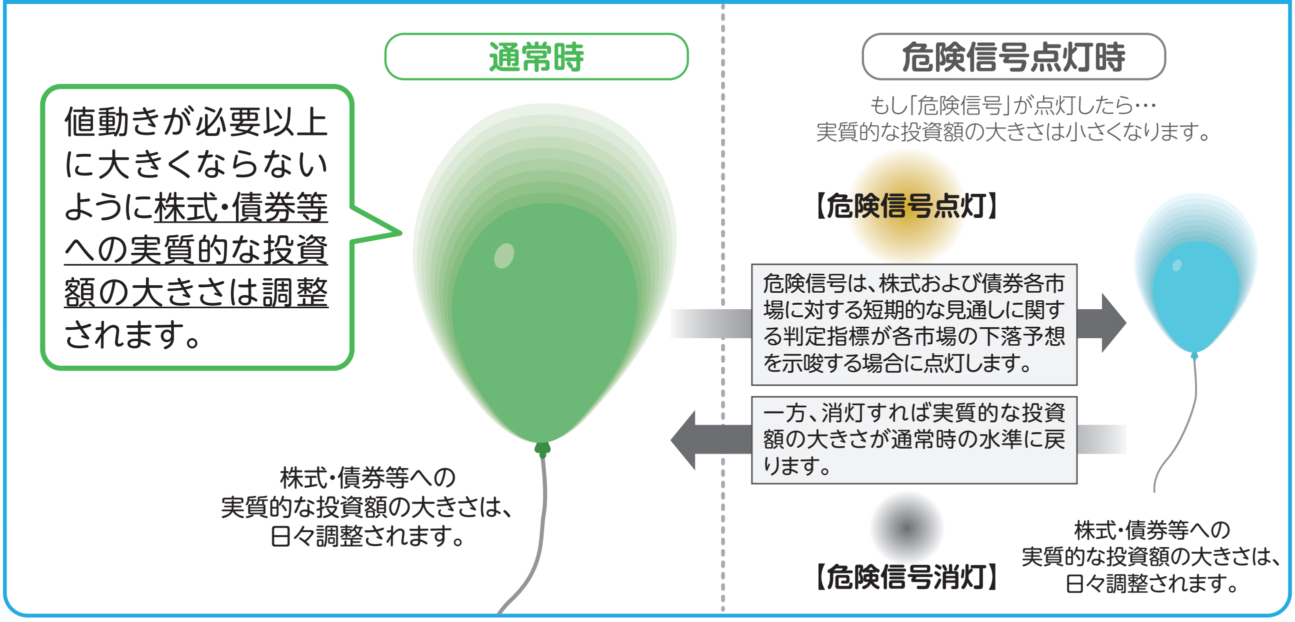
市況動向および資金動向等により、上記

お客さまの資産運用をお手伝いします。

ふやす部分の運用は…
・投資元本（ふやす部分）より大きな金額で運用できる取引を活用します。
・なお、投資成果が悪化した場合、損失を純資産総額の10%以内に抑える仕組みを導入しています。

株式・債券等への投資額の大きさを調整

実質的な投資額の大きさの調整イメージ



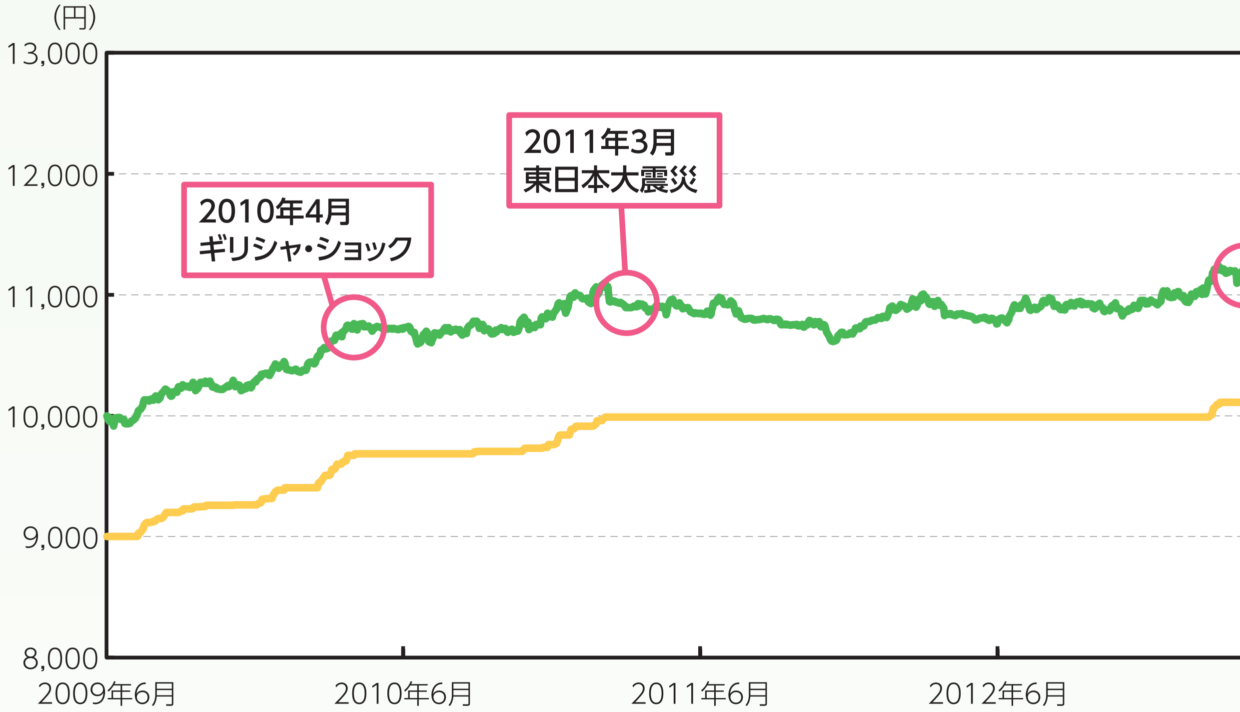
異なります。また、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

のような運用が行えない場合があります。

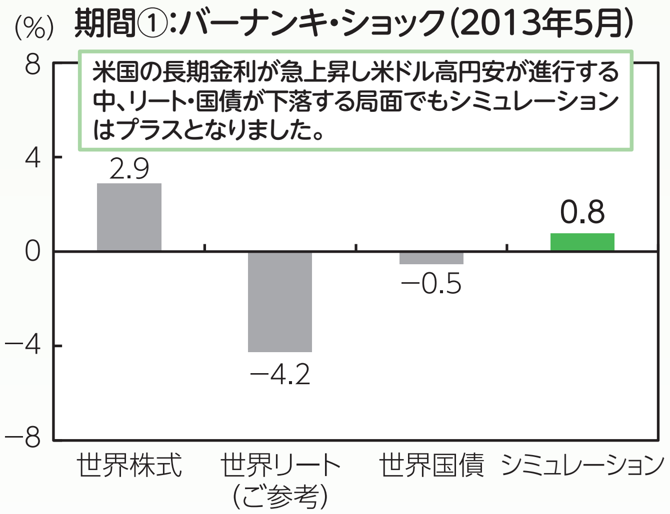
【ご参考】当ファンド

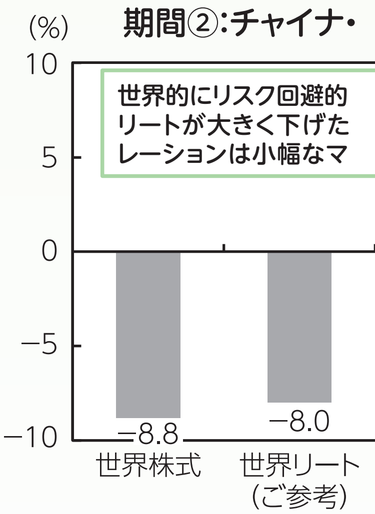
本資料では、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドを「MSIM」、モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショ

当ファンドのシミュレーションは、市場が大きく変動するとき



過去の下落局面における月間騰落率 比較





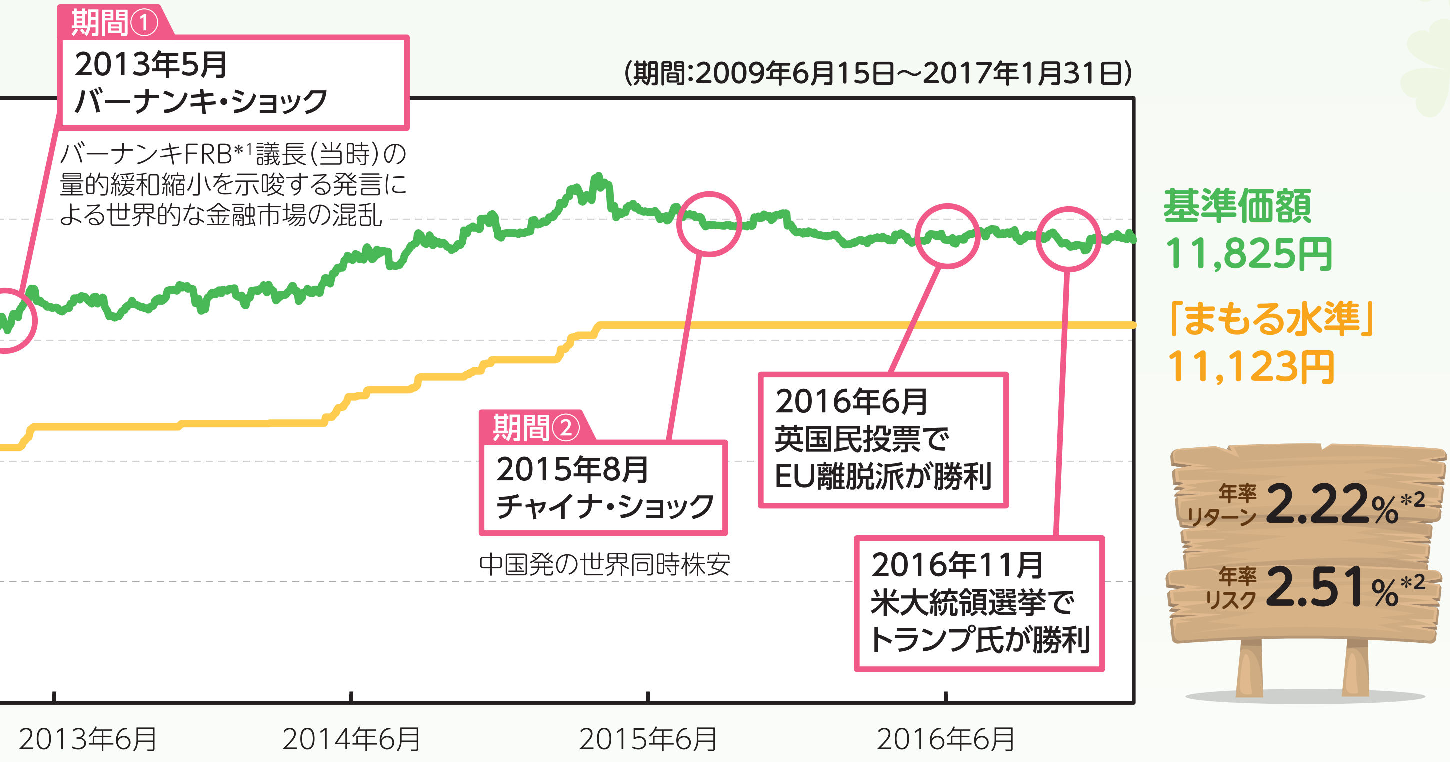
・上記のシミュレーションは、当ファンドの投資先ファンドであるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90におけるふやす部分の運用については類似
　また、株式・債券等への実質投資比率については投資先ファンドと同じ条件を使用して計算しています。ただし、あくまでもシミュレーションであることから、
・投資先ファンドにおける「投資成果(損益)を受け取る取引*4」にかかる費用については、各種費用を含めた想定値を控除しております。また、運用管理費用として、
・上記は、過去の実績・状況、シミュレーションです。将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、投資家が直接負担する
・上記はリスクとリターンの概念をご理解いただくためのイメージであり、必ずしも市場の動向がこのとおりになることを示唆・保証するものではありません。
・上記は指数(シミュレーションを除く)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。株式とリートについてはトータル
・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

*1 米連邦準備制度理事会
*2 リスクとは、リターン(収益)のブレ(変動)の大きさのことであり、日次騰落率の標準偏差で表しています。2009年6月15日から2017年1月31日までのトータル
*3 MSIMのグローバル・バランス・リスク・コントロール・チームがリスク・コントロール型に特化した運用を行います。
*4 「投資成果(損益)を受け取る取引」については、P11をご覧ください。
(出所)MSIMのデータ、Bloomberg、各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

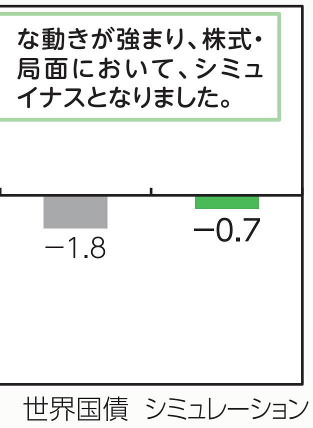
のシミュレーション

ナル・ピーエルシーを「MSIP」ということがあります。

でも、相対的にその振れ幅は小さくなりました。

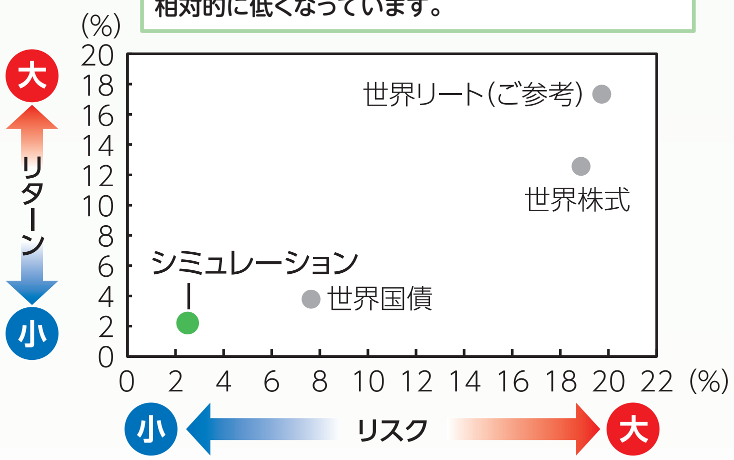


ショック(2015年8月)



年率リスク・年率リターン

シミュレーションのリスク・リターンは各資産よりも相対的に低くなっています。



のバランス運用戦略を行うMSIMの「グローバル・バランス・リスク・コントロール戦略*3」の運用実績を使用して計算しています。
実際の運用とは異なります。
当ファンドの運用管理費用を含めた年率1.3044%を控除しております。(監査費用等のその他費用については考慮しておりません。)
税金・手数料等については考慮しておりません。
また、特定の資産の値動きを示唆するものではありません。
リターン(配当込)の指数を使用しています。世界国債、世界株式、世界リートは、米ドルベースの指数を三菱UFJ国際投信が円換算して使用しております。

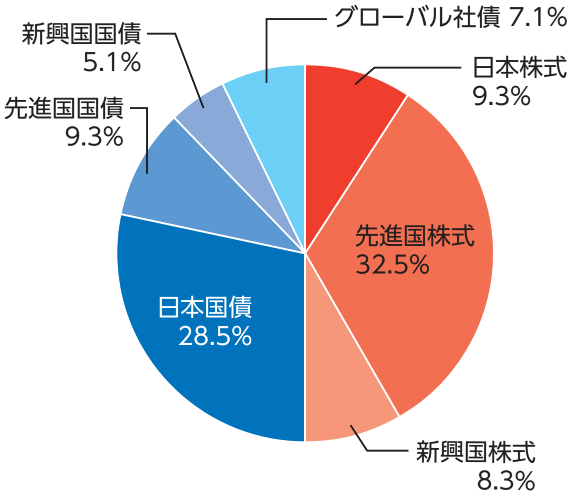
リターン・リスクを年率換算しています。

ふやす部分の株式・債券等の資産構成

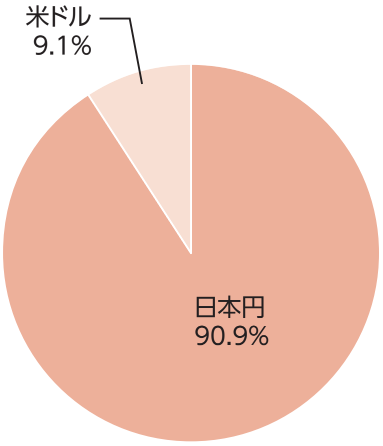
ふやす部分の実質的な投資比率（対純資産比）	9.8%

ふやす部分

資産別構成比率



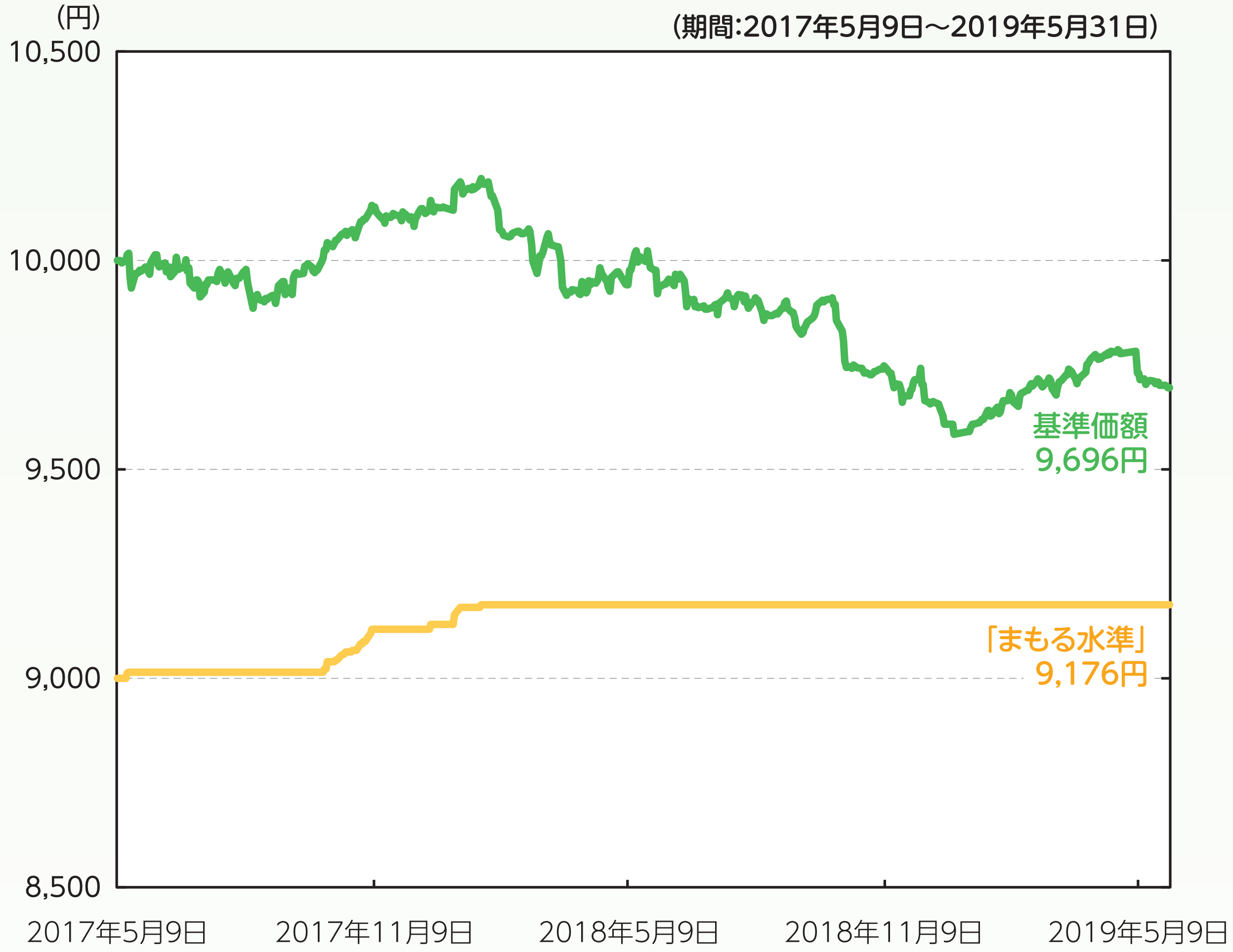
組入通貨



・上記は、当ファンドの投資先ファンドであるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90のふやす部分の状況（現地月末前営業日基準）です。
・ふやす部分の実質的な投資比率はあくまで理論上の値であり、実際の値とは異なる場合があります。
・「資産別構成比率」「組入通貨」はふやす部分に対する実質的な投資対象に関する評価額の割合です。
・日本円は実質的な投資対象で外国投資信託を通じて為替変動の影響をほぼ受けないような投資を行っている比率であり、それ以外の通貨については実質的な投資対象の為替変動を加味した比率となっています。
・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

2019年5月31日現在

当ファンドの基準価額と「まもる水準」の推移



・基準価額、「まもる水準」は1万口当たりです。
・基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

当ファンド

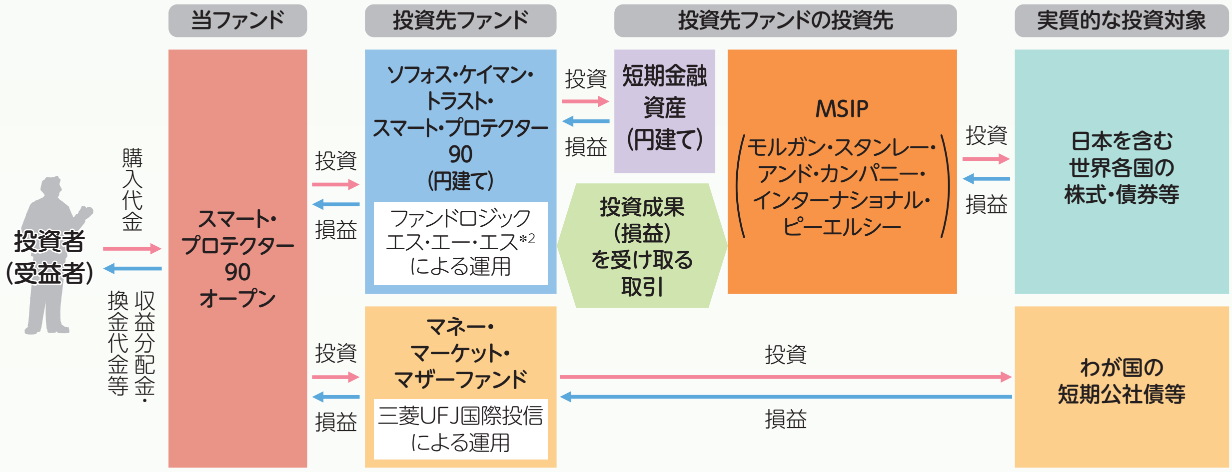
ファンドの仕組み

ファンドは、短期金融資産（預金含む）および日本を含む世界各国の株式・債券等を実質的な主要投資対象とし、円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90の投資信託証券への投資を通じて、円建ての短期金融資産へ90%程度の投資を行うほか、ふやす部分の運用については、「投資成果（損益）を受け取る取引」により、株式・債券等に実質的な投資*1を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

*1 実質的な投資を通じて、為替変動の影響を受ける場合があります。

ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

・ファンド・オブ・ファンズ方式とは、株式や債券などに直接投資するのではなく、複数の他の投資信託証券に投資するしくみです。
・ファンド・オブ・ファンズとは、一般社団法人投資信託協会が定める規則（「投資信託等の運用に関する規則」第2条）に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。



*2 ファンドロジックエス・エー・エスは、モルガン・スタンレー傘下の運用会社です。
※市場環境によって、マイナス金利の影響を受けることがあります。

投資成果（損益）を受け取る取引

当該取引は、投資先ファンドであるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90とMSIPとの間で行われる取引で、実質的に投資する株式・債券等の投資成果（損益）を反映するものです。
当該取引は、株式・債券等への投資成果が良好である場合、プラスの収益獲得となります。一方、株式・債券等への投資成果が悪化して損失が当該取引における投資元本に達した場合、取引が終了するため、損失は投資元本に限定されます。
なお、指数先物取引等を用いて投資元本（ふやす部分）より大きな金額（最大6倍程度、純資産総額の最大60%）で運用することができます。

※投資先ファンドは、取引の相手方の信用リスクに対して資産保全を図るため、当該取引の取引価値に見合う担保を相手方から取得します。
※当該取引にかかる費用は、「投資成果（損益）を受け取る取引」の投資成果全体から控除されます。

市況動向および資金動向等により、上記

ふやす部分における株式・債券等のポートフォリオの運用プロセス

投資対象資産：日本を含む世界各国の株式・債券等

MSIM

資産配分比率の提供

●定量的な要素
- ポートフォリオの目標リスク水準
- 投資対象資産のリスク
- 投資対象資産の資産間の相関　等

●定性的な要素
投資対象資産に対する投資環境見通し　等

MSIP

実質的な資産配分比率の決定

実質的な投資比率の決定

●通常時
- 純資産総額の最大60%
- 投資先ファンドの基準価額の変動幅の許容目処を年率上限4%

●危険信号点灯時
投資先ファンドの基準価額の変動幅の許容目処を年率上限1%に引き下げ

運用戦略を提供

ポートフォリオの構築

「投資成果（損益）を受け取る取引」を通じて、ポートフォリオの投資と同等の投資成果を受け取ります。

※上記は現時点の運用プロセスであり、将来変更される可能性があります。
※上記はあくまでイメージ図であり、一部簡略化して記載している部分があります。

モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピーエルシー（MSIP）

- MSIPは、モルガン・スタンレーの100%子会社（間接出資を含む）で、英国を拠点に証券業務全般を行っております。
- モルガン・スタンレーは（MSIPを含む）、投資銀行、証券、ウェルス・マネジメント、資産運用事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業です。
  世界41カ国以上にあるオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供しています。

（2019年5月末現在）

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド（MSIM）

- MSIMは、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの英国拠点です。
- モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントは、モルガン・スタンレーの資産運用部門として世界20カ国以上に展開し、様々な運用戦略を世界の投資家に提供しています。

（2019年3月末現在）

（出所）MSIP、MSIMの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。**

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる有価証券等の価格変動の影響を受けます。
・株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
・債券の価格は、市場金利の変動の影響を受けて変動します。一般に市場金利が上がると、債券の価格は下落し、組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。市場金利の変動による債券価格の変動は、一般にその債券の残存期間が長いほど大きくなる傾向があります。

【指数先物に関するリスク】
指数先物は投資対象資産の変動等の影響を受けて価格が変動するため、ファンドはその影響を受けます。なお、需給や当該指数に対する期待等により、理論上期待される水準とは大きく異なる価格となる場合があります。

為替変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、外貨建資産への投資を行いますので、為替変動の影響を受ける場合があります。投資対象の通貨が円に対して強く(円安に)なれば基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば基準価額の下落要因となります。
一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

信用リスク

有価証券等の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、有価証券等の価格が下落(債券の場合は利回りが上昇)すること、配当金が減額あるいは支払いが停止、または利払いや償還金の支払いが滞ること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

【MSIPとの間で行われる「投資成果(損益)を受け取る取引」*1」に関するリスク】
主要投資対象とする投資信託証券が行う当該取引はMSIPが取引先となりますが、取引先の倒産等により取引契約が不履行になるリスクがあります。その結果として多額の損失が発生し、基準価額が大幅に下落する場合があります。

流動性リスク

有価証券等を売買しようとする際に、その有価証券等の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

カントリー・リスク

ファンドは、新興国の有価証券等に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・信用・流動性のリスクが大きくなる可能性があります。

＊1 本資料では、「スワップ取引」を「投資成果(損益)を受け取る取引」と記載しています。
＊2 本資料では、「フロア水準」を「まもる水準」と記載しています。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

●ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
●収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。
収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

【「まもる水準*2」に関する留意点】

●ファンドは金融市場の下落時に基準価額の下落を「まもる水準*2」までに抑えることをめざして運用を行いますが、損失が常に一定範囲に限定されるものではありません。「まもる水準*2」とはあくまでも目標とする水準であり、基準価額が当該水準以下とならないことを委託会社が保証するものではありません。
●各種費用やマイナス金利の影響等により、基準価額が「まもる水準*2」を下回ることがあります。
●基準価額と「まもる水準*2」の差が小さくなるほど、実質的な投資金額も小さくなるため、基準価額の一層の下落が抑制されることが見込まれます。一方で市場の価格上昇の恩恵を享受できない場合があります。
●「まもる水準*2」はご購入価額の90%の水準になるとは限りません。

【ファンドの繰上償還に関する留意点】

●ファンドの基準価額が「まもる水準*2」以下となった場合には、短期金融資産による安定運用に切り替えを行い、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。その場合、各種費用やマイナス金利の影響等により、基準価額が「まもる水準*2」を下回ったときよりも償還価額がさらに下落することがあります。
●基準価額が「まもる水準*2」以下に下落してから繰上償還が行われるまでに日数を要することがあります。また、満期償還日までの期間が短い場合には繰上償還を行わない場合があります。
●ファンドの基準価額が「まもる水準*2」以下となった場合には、速やかに購入のお申込みの受付を中止します。

■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。
また、定期的に開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

【本資料で使用している指数について】

■世界株式:MSCI オールカントリー・ワールド インデックス

MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■世界リート:S&PグローバルREIT指数

S&PグローバルREIT指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有する各株価指数の採用銘柄の中から、原則として不動産投資信託(REIT)および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。同指数はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。S&P DJIは、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。

■世界国債:ブルームバーグ・バークレイズ世界国債インデックス

ブルームバーグ・バークレイズ世界国債インデックスとは、ブルームバーグが算出する世界の国債の値動きを表す指数です。ブルームバーグ(BLOOMBERG)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。バークレイズ(BARCLAYS)は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシー(Barclays Bank Plc)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス(BLOOMBERG BARCLAYS INDICES)に対する一切の独占的権利を有しています。

スマート・プロテクター90オープン

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。 ※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

お申込みメモ

購入時

購入単位
分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位
再投資される分配金については、1口単位とします。
投資信託口座を通じたお申込みの場合は上記以外の購入単位でのお取扱いもございます。くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。

購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金時

換金単位
投資信託口座:1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。
金融商品仲介口座:1口以上1口単位、または全部。

換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目にお支払いします。

申込について

申込不可日
次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。
・フランクフルト証券取引所、ニューヨーク証券取引所、ロンドンの銀行、ダブリンの銀行、パリの銀行の休業日

申込締切時間
原則として、午後3時までに受け付けたものを当日の申込分とします。

換金制限
当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消し
金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得および換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
また、信託金の限度額に達しない場合でも、当ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
なお、当ファンドの基準価額が「まもる水準*2」以下となった場合には、速やかに購入のお申込みの受付を中止します。

その他

信託期間
2027年4月28日まで(2017年5月9日設定)

繰上償還
当ファンドの受益権の口数が、10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。なお、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。また、基準価額が「まもる水準*2」以下となり、安定運用に移行した場合には繰上償還となります。

決算日
毎年4月28日(休業日の場合は翌営業日)

収益分配
年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。)
収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。
収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。
※分配金を再投資せず、お客さまの指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。

課税関係
課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

＊1 本資料では、「スワップ取引」を「投資成果(損益)を受け取る取引」と記載しています。
＊2 本資料では、「フロア水準」を「まもる水準」と記載しています。

本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。 ●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	ありません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	■当ファンド 日々の純資産総額に対して、年率1.0044%(税抜 年率0.9300%)をかけた額 ※消費税率が10%となった場合は、年率1.023%(税抜 年率0.930%)となります。 ※基準価額が「まもる水準*2」以下となった場合、翌日以降の運用管理費用(信託報酬)は、日々の純資産総額に対して、年率0.0324%(税抜 年率0.0300%)をかけた額 ※消費税率が10%となった場合は、年率0.033%(税抜 年率0.030%)となります。 ■投資対象とする投資信託証券 投資先ファンドの純資産総額に対して、年率0.10%～0.30% ※マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。 ■実質的な負担 当ファンドの純資産総額に対して、年率1.1044%～1.3044%程度(税抜 年率1.0300%～1.2300%程度) ※消費税率が10%となった場合は、年率1.123%～1.323%程度(税抜 年率1.03%～1.23%程度)となります。 ※基準価額が「まもる水準*2」以下となった場合、翌日以降の実質的な負担は、当ファンドの純資産総額に対して、年率0.0324%程度(税抜 年率0.0300%程度) ※消費税率が10%となった場合は、年率0.033%程度(税抜 年率0.030%程度)となります。 ※当ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
	その他の費用・手数料	・投資先ファンドの運用には以下の項目を含む費用が別途かかります。 「投資成果(損益)を受け取る取引*1」には以下の項目を含む費用がかかり、ふやす部分の投資成果全体から控除されます。 (当該取引での実質的な投資金額に対して) ・MSIPへの報酬 年率0.25% ・MSIMへの報酬 年率0.30% ※実質的な投資比率(最大60%)を考慮した場合、投資先ファンドの純資産総額に対して最大*0.15%(MSIP)、最大*0.18%(MSIM)程度となります。 ＊実質的な投資比率が引き下げられると、控除される費用も小さくなります。 ・損失を投資元本に限定するための費用や、取引執行手数料等も別途かかります。 ※上記の費用については、投資比率が変動するため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。 以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。 ・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)
三菱UFJ国際投信株式会社
お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
(受付時間/営業日の9:00～17:00)
●ホームページアドレス https://www.am.mufg.jp/

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)
三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)
[投資信託口座を通じたお取扱いの場合]**株式会社三菱UFJ銀行**
[金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合]**三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社**
(金融商品仲介業務等を行う登録金融機関:株式会社三菱UFJ銀行)
他の販売会社は、上記の委託会社の照会先でご確認いただけます。